

詩のおもしろさを見つけよう

年

組

番

名前

◇ 本田さんのクラスでは、次の作品を読んでそのおもしろさについて話し合いました。詩を読んであとの問いに答えなさい。

海と太陽

小川未明
おがわ みめい

海は昼眠る、夜も眠る、
ごうごう、いびきをかいて眠る。

昔、昔、おお昔

海がはじめて、口開けて、

笑ったときに、太陽は、
目をまわして驚ろいた。

かわいい花や、人たちを、
海がのんでしまおうと、

やさしく光る太陽は、
魔術で、海を眠らした。

海は昼眠る、夜も眠る。
ごうごう、いびきをかいて眠る。



一、この詩について気づいたことやそのおもしろさについて次のような話し合いが行われました。①～⑤にはあてはまる言葉を書きなさい。

〔話し合いの記録〕

本田	この詩のおもしろいところは、「眠る」という表現を使っ ひょうげん て、①　　を人にたとえているところだと思います。
小川	ばくもその表現はおもしろいと思います。ごうごう、②　　をかいて眠る①　　は、本当に人みたいです。同じ表現を③　　使っているところもおもしろいです。
川村	声に出して読むととてもリズムがよく感じられます。たとえば、「海がはじめて口開けて」のところは、④　　音と⑤　　音を組み合わせています。
中山	何よりも、海や太陽に注目して詩にしたところがおもしろいです。ばくは海の動きに注目し、いつも動いているの で ねているなんて思ったこともなかったけど、作者はその音に注目して「眠る」と考えたんですね。 (話し合いは続く)

二、話し合いで、中山さんがはつ言した「その音」とは、何の音ですか。

()

詩のおもしろさを見つけよう（答えの例）

一、この詩について気づいたことやそのおもしろさについて次のような話し合いが行われました。①～⑤にはあてはまる数を書きなさい。

〔話し合いの記録〕

本田	この詩のおもしろいところは、「眠る」という表現 ひょうげん を使 って、（海）を人にたとえているところだと思います。
小川	ぼくもその表現はおもしろいと思います。ごうごう、 （いびき）をかいて眠る（海）は、本当に人みた いです。同じ表現を（くりかえし）使っているところもお もしろいです。
川村	声に出して読むととてもリズムがよく感じられます。た えば、「海がはじめて口開けて」のところは、（七）音と （五）音を組み合わせています。
中山	何よりも、海や太陽に注目して詩にしたところがおもしろ いです。ぼくは海の動きに注目し、いつも動いているの でねているなんて思ったこともなかったけど、作者はその 音に注目して「眠る」と考えたんですね。 （話し合いは続く）

二、話し合いで、中山さんがはつ言した「その音」とは、何の音
ですか。

（海）